

科目ナンバー	PSY-3-011-k		科目名	環境心理学		
教員名	呉 宣児		開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	われわれは常に環境の中に住んでいる。自分の部屋のレベルの環境から地球レベルの環境に至るまで様々な環境に対する捉え方を学び、私たちの生活・文化・まちを読み解く方法を探る。「人間と環境」をセットにして捉えることで、異なる空間・場所・状況のなかで人々の行動・生き方をあらたな目で見、環境・地域改善のための提案ができる力をつける。					
到達目標	①環境心理学領域の基本用語を含む新しい知見を学び理解する。 ②学んだ環境心理学的な知見を実践場面で考えるため、地域の活動に参加し観察を行いまとめる。 ③環境心理学的な視点でまちを見て自分なりの新しい考え方・発想を出すことができるようにする。 ④グループワーク、討論、地域フィールドワークをもとにまとめて発表する力を見につける。					
「共愛12の力」との対応						
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力 ○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力 ○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	①環境心理学の領域の理論的基礎に関しては講義を行う。②学んだ内容をより深く現実に応用して考えるためにミニ実験を行ったり、グループワークやグループ討論を行う。③基本的な知見を習得した後、各自自分のテーマでフィールドワークを行いレポートを作成して発表を行う。学生の発表に対し受講者同士の相互コメントを行う。講義は、パワーポイントシステムを用いて重要なポイントを解説する。この授業は毎回写真やビデオ資料等を用い、様々な視点から環境を捉えることを試みる。指定の資料やコメントなどはムードルで共有する。					
アクティブラーニング	○	サービスマーケティング	○	課題解決型学修	○	
受講条件 前提科目	特になし					
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常授業への参加・貢献度30%:ミニ感想文・グループワークへの参加度など(2)数回のミニ課題(30%):資料を読んでA4用紙1枚程度の感想文などを書いて提出3回程度。(3)テーマを用いた調査のレポート40%:授業で取り上げたテーマから一つ選び、各自カメラを持って町をあるきながら写真を撮り、レポートを作成します。それを授業時に持ってきてグループで発表会を行い、さらにグループから選ばれた人は全体の前で発表を行います。					
教材	授業に必要な資料は授業時間に配布する。または、ムードルで共有する。					
参考図書	①人間行動学講座第3巻 住まう住行動の倫理学 中島義明・大野隆造(編) 朝倉書店 1996年②人間環境学よりよい環境デザインへ 日本建築学会(編)朝倉書店 1998年③環境心理学の新しい形 南 博文(編) 誠心書房 2006年④環境心理学 佐古順彦・小西啓史(編)朝倉書房 2007年⑤環境心理学:人間と環境の調和のために 羽生和紀 サイエンス社 2008年⑥まちづくり心理学 城月雅大編著 名古屋外国語大学出版会 2018 ⑦前橋市の地域づくり事典:「家に住む」から「地域へ住む」へ 呉宣児他編著 上毛新聞社 2018					
内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	オリエンテーション、環境とはなにか					
授業外学修内容					時間数	
2週目						
授業学修内容	・自分の子ども時代を思い出すことから環境を考える(となりのトトロを手がかりに)・DVD視聴と討論					
授業外学修内容	指定の資料を読んでくる。				時間数	1
3週目						
授業学修内容	・自分の子ども時代を思い出すことから環境を考える(となりのトトロを手がかりに)・前回の討論をうけて、講義(原風景から子ども時代を捉える)					
授業外学修内容	指定の資料を読んでくる。				時間数	0.5
4週目						

授業学修内容	・原風景と場所愛着(講義)		
授業外学修内容	・配布した資料を読んできると	時間数	0.5
5週目			
授業学修内容	・原風景と地域づくり, レポートを用いたグループ討論と講義		
授業外学修内容	・配布した資料を読んで、要約と感想をA4用紙1枚にまとめて持ってくる。	時間数	1.5
6週目			
授業学修内容	・身近な環境を考える(グループワーク): 前橋市を捉えてみよう		
授業外学修内容	・前橋市の特徴について書かれた記事・雑誌などを読んで、要約してくる。	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	・人々と環境のかかわり1: 子どもの視点から(講義)		
授業外学修内容	・資料を読んできると	時間数	1
8週目			
授業学修内容	・人々と環境のかかわり2: 高齢者・障害者の視点から(講義)		
授業外学修内容	・資料を読んできると	時間数	1
9週目			
授業学修内容	・あなたと私どれくらいの距離姿勢と空間、間の心理(ミニ実験と講義)		
授業外学修内容	・資料を読んできると	時間数	1
10週目			
授業学修内容	・4号館を「動線・視線・安全・快適・居心地よさ」という点から捉えてみよう(グループワーク・発表)		
授業外学修内容	・資料を読んできると	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	・学ぶ環境: 学校		
授業外学修内容	・資料を読んできると	時間数	1
12週目			
授業学修内容	グループワーク。各自のテーマで作成したレポートをグループ内で全員が発表し、相互にコメントを書く。 ＜カメラを持ってまちを歩く＞		
授業外学修内容	カメラを持ってまちを歩きながら調査して作成したレポートを授業時間に持ってくる。	時間数	15
13週目			
授業学修内容	グループで選ばれたレポートの全員で前でPPTファイルを利用してプレゼンテーションを行う。受講者はプレゼンを聞いて、コメントを行う。		
授業外学修内容	まちを歩き調査してレポート作成	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	住みやすい地域・都市住まう環境: 住宅		
授業外学修内容	・地域の行事に参加して観察し、A42枚程度に報告書を書く。	時間数	6
15週目			
授業学修内容	ふり振り返りワーク・まとめ		
授業外学修内容	半年間の資料等を全部持ってくる。	時間数	
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	PSY-3-011-k	Subject	Environmental Psychology			
Name	吳 宣兕 (Oh Seon Ah)	Year and Semester	S First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	We always live in the environment. We learn how to view the environment from the level of your room to the level of the earth and find ways to understand our lives, cultures and towns. By looking at "human and environment" as a set, one can see people's behavior and lifestyles in different spaces, places and circumstances.					